

つくばフォーラム2026に見る アクセスネットワークの研究開発

本特集では、2026年5月27～28日に開催された「つくばフォーラム2026」での講演を基に、NTTグループの最新のアクセスネットワーク技術について、AI時代を見据えた将来のネットワーク構成など、新たな価値創造と持続可能な社会の実現に向けた取り組みについて紹介する。

アクセスネットワークで拓く未来 新たな価値創造とサステナブル社会への貢献 ————— 32

新たな価値創造とサステナブル社会への貢献に向けてアクセスサービスシステム研究所が描く「アクセスネットワークで拓く未来」の紹介、およびアクセス分野の最新技術を展示した「つくばフォーラム2026」について紹介する。

光とAIを軸に研究開発CoEをめざすNTT研究所 ——IOWN, tsuzumi, 光量子コンピュータの社会実装を通して—— 36

NTT研究所の戦略テーマである「IOWN」「tsuzumi」「光量子コンピュータ」について、木下真吾NTT研究企画部門長の基調講演を基に紹介する。

NTT西日本グループにおけるサービスと ネットワークの過去・現在・未来 ————— 45

大きな転換点を迎えているNTT西日本グループにおけるサービスとネットワークを「過去・現在・未来」の観点で整理し、NTT西日本が担う役割と今後の取り組みを、桂一詞NTT西日本代表取締役副社長の基調講演を基に紹介する。

アクセスネットワークで拓く未来 新たな価値創造とサステナブル社会への貢献

TSUKUBA FORUM 2026

アクセスネットワーク

IOWN

オールブロードバンド化

無線通信

光アクセス

特集

将来のアクセスネットワークを実現する研究開発の取り組み ————— 52

アクセスサービスシステム研究所が描く将来のアクセスネットワークと、この実現に向けた各技術分野の課題や主な取り組みについて紹介する。

CONNECT & SENSEによる無線アクセス研究開発 ————— 58

マルチ無線プロアクティブ制御技術（Cradio[®]）による無線のつながりと、無線信号による環境の把握の検討状況、将来の高度化に向けた研究開発技術について紹介する。

AI時代を支える光アクセスネットワーク技術 ————— 63

本格的なAI時代の到来を見据え、アクセスサービスシステム研究所で取り組んでいる、AIが光アクセスにもたらす変化と影響を概観するとともに、研究開発の方向性と関連技術について紹介する。